

# 会津大地震

## 慶長十六年(一六一二)

### 慶長会津地震

慶長十六年(一六一二)八月二十一日  
午前八時頃 マグニチュード六・九か  
ら七・二、震度六強と推定

死者約三千七百人、約二万戸が倒壊か  
(一九八七年 宇佐美龍夫『新編日本被害  
地震総覧』より) (一九八七年 寒川旭

『慶長十六年会津地震による地変と地震断  
層』ではマグニチュード七・二と推定して  
いる)

会津盆地西縁断層帯が震源。大沼郡柳津  
町西山から三島町滝谷にかけて『塔寺八幡  
宮長帳』による

### 当時の藩主 再蒲生時代

蒲生秀行(ひでゆき) 六十万石

文禄四年(一五九五)〜慶長十七年(一六  
一一) 治世十年間、会津若松市館馬町 弘  
真院に墓所がある。(建物は県指定文化財  
文化財、市史跡)

文責 石田明夫

磐梯山



阿賀川

山崎新湖跡から東  
の磐梯山を望む



地震で倒壊した喜多方「熊野神社」  
寛治3年(1089)源義家が会津若松  
市河東町熊野堂より移す。昭和49  
年再建。間口27m・奥行17m。44  
本の柱の寝殿造。東北最古・最大  
級の建造物。国重文指定

蒲生秀行公は、30歳で慶長17年(1612)5  
月14日に死去。墓は、会津若松市史跡指定。  
建物は県指定文化財。秀行公の死は、地震  
の前年の5月『塔寺八幡宮長帳』に、柳津町  
出倉(柳津の虚空蔵堂の上流約2キロ)で、揚  
(あが)川(只見川)に毒を流して魚採りをし、  
その魚が集まった所を「魚淵」という。神仏の  
おろそかにした祟りにより、地震があり、そし  
て死んだと噂された。『会津旧事雑考』